

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.12.15 No. 249 連絡先 FAX 042-555-1911



MVオスプレイ・ハワイ墜落事故調査報告の全文公開を都議会に陳情



今年(2015年)5月にハワイのオアフ島の米軍基地で起きた墜落死亡事故について、米太平洋海兵隊は「オスプレイの事故調査が完了」という簡単なメディアリリースを、11月23日だしました。米軍は事故後の6月3日、MVオスプレイ3機を横田基地に飛来させ、東富士演習場で訓練をしています(上写真)。事故の主な要因はパイロットの判断ミスなどとしてとしています。

横田基地の撤去を求める西多摩の会は、12月14日(月)、都議会に、事故調査報告書の全文公開、欠陥のあるフィルターでの飛行は直ちに止めよ、オートローテーション(自動回転)機能がないMVオスプレイの撤去とCVオスプレイの横田配備撤回を、日米政府に要求する陳情を提出しました。また、横田基地問題を考える会は、CVオスプレイ横田配備の環境レビューについての陳情を提出しました。委員会での審議は2月中旬頃の予定です。

航空自衛隊の総隊司令部が「施設案内、部隊名等」表示外しの通達



米軍横田基地内に司令部を置く航空総隊司令部が10月1日付で、全国の所属部隊に、「基地案内、庁舎案内図、正面の名札、部隊の看板、部屋などに貼ってある印刷物等」を外すよう促す通達をだしたそうです。

航空総隊所属の部隊名をつけたTシャツや部隊がわかる識別帽の着用もダメと指示しています。総隊司令部は、「情報を守る保全活動の一環として通達をだした」と説明しているそうです。

11月3日、航空自衛隊入間基地で航空祭が行われ、公開されましたが、基地正門付近にあるはずの所属部隊の看板が消えていたそうです。

航空自衛隊横田基地の看板(左写真)もカモフラージュでしょうか。

「辺野古の抗議集会525日目 東京の看護師らも参加」沖縄地元紙報道

「名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前で13日午前、新基地建設に反対する市民ら約100人が集まり、「沖縄の平和のために新基地建設反対を継続しよう」と確認しあった。抗議活動は同日で525日目。市民らと機動隊との衝突は今のところ確認されていない。

看護師や介護福祉士らで構成する「東京民医連三多摩ブロック」のメンバー13人も県外から参加。「辺野古の海を守ろう」と記された寄せ書きの布を贈った。代表の羽田邦雄さん(60)は「地元の横田基地問題も普天間問題も似ているところが多い。沖縄と連帯して、平和を訴えていきたい」と話した。」と沖縄タイムスは12月13日(日)、配信しています。



上記メンバーの数人は、11月15日、横田基地を見た後、横田座り込みに参加しました。

オスプレイ訓練中 着艦に失敗 米カリフォルニア州沖で (No.249の裏面)

12月14日の報道によると、アメリカ海兵隊のMV22オスプレイが9日、カリフォルニア州サンディエゴ沖で輸送揚陸艦ニューオリンズへの着艦に失敗していたことが13日、分かりました。

事故機は、サンディエゴのミラマー基地所属の第166海兵中型ティルトローター飛行隊所属機です。来月に予定されている太平洋と中東方面での展開に向けた飛行認証訓練中に事故は起きました。米海兵隊によれば、オスプレイの乗組員4人と乗員22人にけがはないそうです。

事故の詳細について海兵隊当局は「米メディアの一部は、『ハードランディング(激しい衝撃を伴う着陸)』と報じているが、現在調査中で、機体の損傷程度などはまだ分からない」と明らかにしていません。オスプレイは今年5月17日にハワイで着陸に失敗し2人が死亡、20人以上が負傷する事故を起こしています。

オスプレイ事故「情報提供求める、事故原因も確認したい」と菅長官

時事通信 12月14日(月)16時53分配信「菅義偉官房長官は14日午後の記者会見で、米海兵隊の垂直離着陸輸送機オスプレイが米カリフォルニア州で輸送揚陸艦への着艦に失敗したことについて、『米軍に情報提供を求めている。事故原因もしっかり確認したい』と述べた。」

昨年10月 ペルシャ湾上でオスプレイが離艦失敗 1人死亡している



2014年10月1日、イラクに近いペルシャ湾の洋上で、MV22オスプレイが米海軍の強襲揚陸艦マキン・アイランドから離艦しようとしたのですが、機体が一時的に出力を失いました。この際、搭乗員のうち2人が海に飛び込み、1人は救助されましたが、1人が行方不明になり、死亡を確認しました。

オスプレイは搭乗員によって、その後、制御を取り戻して強襲揚陸艦に着艦しました。この事故ですが、事故報告書によると、エンジンの出力は20%少ないメンテナンス・モードで離艦していました。80%の出力があったのに、オスプレイは落ちてしまいました。防衛省は「オスプレイの片方のエンジンが止まっても1基のエンジンのみで両翼のローターを回転させ飛行継続可能」(2019年9月19日MV22オスプレイオートローテーションについて)と安全性を強弁しましたが、ペルシャ湾の事故でも80%の出力でも落ち、今年の5月ハワイでの墜落事故も片方のエンジンが失速し墜落しました。

上は、USMC.SanDiegoUnion掲載のオスプレイの写真です。オスプレイが必死に飛ぼうしています。オスプレイは積んでいた燃料を海中に捨て軽くなりながら、少し持ち上がっては海に落ち、また持ち上がっては海に落ちを、数回繰り返したそうです。オスプレイは欠陥機なのです。

MV-22オスプレイの着艦失敗について横田基地対が防衛省北関東防衛局に要請

平成27年12月9日、米カリフォルニア州において、MV-22オスプレイが輸送揚陸艦への着艦に失敗した旨の報道がありました。このことについて、横田基地周辺市町基地対策委員会(幹事市:武蔵村山市)は、防衛省北関東防衛局に対して、12月15日、次の要請を行いました。

【口頭要請】「平成27年12月9日(現地時間)に発生した米国カリフォルニア州でのMV-22オスプレイの着艦失敗について、迅速かつ正確な情報提供をすること。」